

JAA LIBRARY NEWS



季節の本 ハロウィン～クリスマス展示中です！



しかけ絵本を開いてみてね！

図書室人気本
「ありえないほど感情
移入して大号泣！」



What's new ～新着本情報～



映画作品



アニメ作品



アニメ作品



大賞35万部!!

No.1お菓子本!!

透明な螺旋 / 東野圭吾	新 謎解きはディナーのあとで	おうちで旅レシピ(全国ご当地)
最旬韓国ドラマ&カルチャーFANBOOK	武器ではなく命の水をおくりたい	余命3000文字
つべこべ言わずにかわいくなりますか / ひよん	ナナコナホン かわいいの魔法 / ななこ	世界の艦艇 完全カタログ
この素晴らしい世界に祝福を！	普通二輪免許パーフェクトBOOK	コロナ後のエアライン など

～図書委員のおすすめの本～

ほとんどの人が訪れたことのない、名もなき町。この町は再び客を呼ぶために華々しい計画を進めていました。しかし、その計画は世界中を襲ったコロナウイルスの蔓延により頓挫。町は望みを絶たれてしまい、そんなタイミングで殺人事件が発生。そこに颯爽と現れた「黒い魔術師」が知恵と仕掛けを駆使し、事件解決に挑みます。果たして、警察より先に事件解決に至るのか――。

この本はコロナ禍の社会問題にも触れていて、共感できる場面が多くあり読みやすかったです。また、そこに東野圭吾さんならではのミステリーが絡められていて、新しい本の面白さを知ることができました。この物語の登場人物も个性的かつ魅力的です。その中でも私のお気に入りの登場人物は神尾武史です。彼はマジシャンで人を口で操るのも上手い雄弁な人物です。人から話を聞き出す方法が知る事ができ勉強にもなりました。皆さんもこの本を読んで、今までに無い本の面白さを感じて欲しいです。是非、手に取って読んでみてください！

(H2-5 柴田穂乃花)

紹介本『ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人』

著 東野圭吾



泣ける!! ―読書で感動したい方へ―

私は普段からあまり本を読まないし、「読書ってそんなに感動するものなのか」と、初めは疑っていました。なんと、『僕と君の365日』が私の読書に対する固定概念を変えてくれました。今回はそんな本を紹介したいと思います。

普通の高校生活を過ごしていた新藤蒼也は、進学クラスから自らやめた立波緋奈と隣の席になります。しかし、新藤蒼也は「無彩病」―色彩が失われ、やがて死に至る病気となったことを知り、自暴自棄になってしまいます。そんなとき、緋奈が「死ぬまで彼女になってあげる」と約束し、それから新藤の最期まで日々を過ごします。そして、驚愕のラストには号泣必至のラブストーリーです！私はそのラストに、思わず、「あれ？あれ？」と二度見するほど文章を読み返しました。

あっという間に読み終わってしまうほど見入ってしまいます。

みなさんも是非、手に取って読んでみてください。

(H2-5 山本真愛)



紹介本『僕と君の365日』

著 優衣羽

山本教頭先生のおすすめの一冊

山本浩先生は本校の教頭先生で、数学も教えてくださっています。兵庫県出身で、部活動は男女バスケットボール部の副顧問をされています。

＜山本教頭先生からのコメント＞

数学と野球を通して繋がる「シングルマザー」と息子の「ルート√」、記憶が80分しか維持できない元大学数学教師「博士」の日常が描かれています。

2006年に映画化され、小説では家政婦である「シングルマザー」の目線から語られていますが、映画では中学校の数学教師になった29歳の「ルート√」が語り手になっています。

数学が嫌いな人でも、読みやすい内容です。事故で記憶が80分しか維持できなくなった「博士」のために、家政婦として雇われた「シングルマザー」と、彼女の息子「ルート√」。3人は共に過ごす時間が増え、仲良くなっていきますが、いろんなことが起こり、だんだん仲を割れていく話になっています。

友愛数（異なる2つの自然数の組で、自分自身を除いた約数の和が、互いに等しくなる数）の説明があります。

$220: 1+2+4+5+10+11+20+22+44+55+110=284$

$284: 1+2+4+7+14+28+11+22+44+55+110=220$

「220の約数の和は284。284の約数の和は220。これは友愛数だ。減多に存在しない組み合わせで、フェルマーやデカルトでも一組ずつしか見つけられなかった。神の計らいを受けた絆で結ばれた数字」と説明されています。説明だけなら「そうなんだ」くらいですが、「神の計らいを受けた絆で結ばれた数字なんだ。美しいと思わないか？」と言われると、確かに二つの数字は奇跡的な関係で、素晴らしいもののように感じます。

ちなみに博士が愛した数式は

$e^{\pi i} + 1 = 0$ (オイラーの公式)

です。どこで出てくるかは、探してみてください。

一言で言うと、悲しくも温かい物語です。数学が嫌いな人に是非とも読んでほしいと思います。

紹介本『博士の愛した数式』 著 小川洋子



作成：高校2年図書委員・司書